

山行報告書

日時	2016年 11月19日(土)～20日(日)		天候	曇り時々雨
山名	脊梁縦走			
CL	木下講師	参加者	高野(講師) 高田(準講師)川崎 高藤	
(コース)	<p>11/19(土) 出発(09:40)⇒衣服調整のため休憩(10:50)⇒昼食(13:00) ⇒一夜畑(13:48)⇒天守山(15:20)⇒久保の息着(18:20)</p> <p>11/20(日) 出発(07:50)⇒林道着(11:40)⇒集合場所着(12:36)</p>			
(コメント)	<p>今回登山学校で脊梁の天主山縦走、ビバーク訓練を行いました。4方向からの集中登山が嵐のため中止となり、同一方向の時間差出発となり、私のチームは受講生2人、講師3人で先頭を歩くことになりました。地図読みを周囲の景色と確認しながら、慎重にルートを選択していきます。藪漕ぎも現れ、現在地を受講生同士、確認しながら、天主山頂までは予定を上回るスピードでこなしていきました。山頂向こうの北斜面では、鍋に投入できるキノコを探しながら、不明瞭な踏み跡、少ないテープを辿り、ビバーク地に到着しました。仲間の中には体調不良で行動不能になった受講生もあり、悪天候の中、ビバーク地の変更を余儀なくされるなど、ハプニング続きでした。ツェルトも正しく張れず、下半身をツェルトから出したままシュラフカバーでのビバークは、苛酷でしたが、その経験は必ず活きたときがくると思います。朝まで起きてるのか寝てるのか、分からないまま、撤収し、無事に下山したときは本当に嬉しかったです。まずは体力、軽い装備、ルート選択、地図読み、気力など総合力を試された登山でした。</p> <p style="text-align: right;">(記 川崎)</p> <p>今回の講習では装備表内で8kg以内に収めなくてはならない課題がありました。必要最低限で今まで無駄な荷物を多く持っていったと痛感しました。雨で視界がない状態での地図読みはとても難しく、なかなか前に進みませんでした。現在地が解らなくなり引き返して確認することもありました。途中、他班とのコンタクトが上手く行かず、かなりのロスを取られ、日没まで間に合わず長く歩く事になった事は反省の一つでした。懐中電灯での歩行はあまり慣れていなく、いい経験になりました。厳しいと聞いていましたが、アップダウンが多く、最後はくたくたになり体力のなさを痛感しました。初のツェルト泊は上手く張れるか心配でしたが、何とか翌日を迎えたのはよかったです。寒くて一睡も出来ませんでした。今回はそれほど寒くなかったのがよかったです。もっと寒い時用に対策をする必要があります。また行動食は皆さんいろいろありましたが、自分のはあまり良いものではなくこちらも対策を考えていきたいとします。</p> <p style="text-align: right;">(記 高藤)</p>			
費用概算	<p>(交通費/人)</p> <p>(その他/人)</p>			